






ふりがな 氏名	やまだ けいたろう	都道府県	大阪府	
	山田 慶太郎			
所属/肩書	<ul style="list-style-type: none"> ・ シャープ株式会社 ・ NPO 法人 教育のための TOC 日本支部 			
私のESD活動	シャープで組織開発の活動に取り組みつつ、NPO のボランティアとして思考ツールの普及にも取り組んでいます			
関心・活動の SDGs	   			

活動の概要

シャープの中で、横のつながりを作り風土を改善していこうと、2015 年から有志の活動を立ち上げ色々な取り組みを進めています。

入社した 2012 年からシャープは赤字に転落し、ニュースでも取り上げられるほど会社の状態は悪化していました。そんな中で、このままではいけないととりあえず風土改善チームを作り、2015 年に活動をスタートしました。しかし、私自身なんのスキルもビジョンもないまま活動を始めてしまい、リーダーとして力不足を痛感したため、社外の勉強会でファシリテーションやシステム思考、組織開発の手法など色々と学んでいきました。結果として、有志のチームにそのスキルを還元し、またお試しで実践する場としても機能し始めました。いまでは月に一回の社内勉強会を活動の軸として、セミナーや交流会など色々な活動を 3 年続けており、いまなお進化を続けています。

その一方で、NPO 法人「教育のための TOC 日本支部」の活動にボランティアで携わっています。「教育のための TOC」では、子どもも大人も使える、シンプルながら奥の深い思考ツールを提供しています。その活動に携わりながら「生徒が自立して考えられるようになる教育の在り方」を模索しています。NPO 主催のセミナーに講師・スタッフとして参加しながら、個人でも講座を開き、「よりよい教育とは何か」という問いと向き合いながら活動を続けています。

・「教育のための TOC 日本支部 HP」 <http://tocforeducation.org/>

今後の活動の展望と周囲や社会への還元

シャープとしての活動の文脈では、まず同様に組織開発に取り組む人たちとのつながりを作り、それぞれが経験した道のりを共有したいと思います。こういった組織開発の分野では、場所は違っても課題は似ていることが多いため、他の事例が自社でも使える可能性があるためです。そして、それらを自社のチームに還元し、活動を変化させ、その結果どうなったかをまたコンファレンスメンバーに共有する。そういったアクションとフィードバックのループをうまく循環させ、お互いの組織がよりよくなっていくような未来につなげたいと思っています。

「教育のための TOC」では、そこで扱う思考ツール自体が他の色んな思考ツールや組織開発の手法と相性がいいと考えており、そういった掛け算ができるような場を全国各地に作っていきたいと考えています。決して「教育のための TOC」を普及することそのものが目的ではなく、結果として日本の、ひいては世界の教育の質が向上することが重要です。そのためにもまずは日本全国の教育現場を自分の目でみて、確かめたいと思っています。コンファレンス参加がそのきっかけとなればと思います。